

展示配置図



※展示位置については、変更になる場合があります。



- 駐車場** あり(学校駐車場を共有使用)※台数に限りますので公共交通機関の御利用をお願いします。
- 交通** 埼玉新都市交通 伊奈線(ニューシヤル)丸山駅下車 徒歩5分
- 所在地** 伊奈町大字小室3001番地(伊奈町立南中学校地内)
- 見学の注意** 施設内での飲食及び学校敷地内での喫煙はご遠慮ください。展示物には手を触れないでください。写真撮影の際は係員に声をおかけください。
- 問い合わせ** 伊奈町教育委員会生涯学習課 TEL 048-721-2111(代)
- 休館日** 月曜日・木曜日・金曜日・国民の祝日(子供の日、文化の日)は開館
- 入館料** 無料
- 開館時間** 午前9時から午後4時まで

利用のご案内

伊奈町立郷土資料館

伊奈町立郷土資料館は、本町の自然・地理・歴史・民俗の総合的な展示をおこない、伊奈町の豊かな自然や文化財等、郷土の宝を知る機会となる場所です。

平成28年4月より伊奈町立南中学校内へ移転、開館いたしました。教室を活用した生涯学習拠点づくりを推進するため、多くの方に来館していただき、展示を見ていただくことにより、郷土への愛着を深めていただけたら幸いです。



伊奈ローズちゃん



伊奈ローズくん



埼玉県ふるさと創造資金

コバトン

このパンフレットは、埼玉県ふるさと創造資金の補助を受けて作成しました。



展示のご案内

I 立地と自然

伊奈町は関東平野の中央にある大宮台地のほぼ中央に位置しています。町を囲むように東西に川が流れ、楕円形の輪郭を形作っています。また、湧水点や小河川が多く点在しており、植物の貴重な水源となっています。

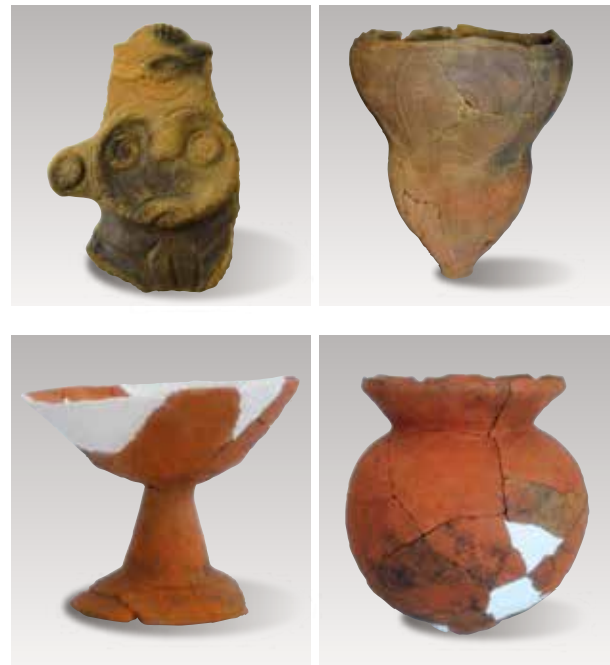


II 原始から古代へ

伊奈町で確認できる最古の人類の足跡は旧石器時代です。この時代、人々は石器を使用し、狩猟をおこない、キャンプのような生活を送っていました。縄文時代をむかえると、人々の生活はより多様なものとなっていきます。その痕跡を小貝戸貝塚(県指定史跡)や本上遺跡などで確認することができます。

弥生時代になると稲作が始まり、人々はより大きな集団で生活するようになり、古墳時代をむかえるとクニが出現します。伊奈町では諏訪久保遺跡などで人々の生活の様子をうかがい知ることができます。

平安時代になると鉄の需要が拡大し、各地でその生産がおこなわれるようになりました。伊奈町でも鉄の生産はおこなわれており、大山遺跡は関東有数の規模をほこる製鉄遺跡です。また、町内の西光寺には平安時代に造られた木造阿弥陀如来坐像(県指定有形文化財)が現存しています。



III 中世から現代へ

鎌倉時代には、歴史的な変革に伴い世情が不安定になる中で板石塔婆(板碑)が造立され、信仰が一般民衆へと広がっていきました。

戦国時代の伊奈町には、有力寺院であった関伽井坊(赤井坊)がいましたが、江戸時代になると、徳川家康の関東入国に伴い、伊奈町の町名の由来ともなった伊奈備前守忠次がその場所に陣屋を構えました。陣屋は現在も伊奈氏屋敷跡(県指定史跡)としてその姿を留めています。

明治時代になると、政府により町村の拡大強化が推進され、明治8年(1875年)に小室村が、明治22年(1889年)に小針村が成立しました。大正時代になると、これまでの農業に加え、織物や桐たんすなどの製造業が増えるなど産業形態が変化し、大正12年(1923年)には小室商工会が設立されました。

時代が昭和になると県内で町村の合併が推進されました。その結果、昭和18年(1943年)小室村と小針村が合併し、「伊奈村」が誕生しました。戦後、民主化政策の一環として生活改善運動が展開され、人々の生活が変化していきました。高度経済成長期をむかえると、伊奈村の人口は増加の一途を辿り、昭和45年(1970年)町制施行により「伊奈町」となりました。その後、昭和57年(1982年)には新幹線が開通し、翌年埼玉新都市交通 伊奈線(ニューシャトル)が開通し、伊奈町は現在の姿となりました。



IV 田口善国氏作品展示

平成元年に重要無形文化財(人間国宝)「蒔絵」の技術保持者に認定された故田口善国氏の作品も展示しています。

